

和歌山県立高等学校再編整備  
第2期（後期）実施プログラム

平成25年10月

和歌山県教育委員会

## はじめに

近年、高等学校で学ぶ生徒の多様化や生徒数の減少が続く中で、全国的に公立高等学校における特色ある学校づくりや再編整備についての検討が進められています。和歌山県においても、中学校卒業生数は、平成元年3月をピークとして減少傾向を続け、今後も減少することが見込まれます。

また、生徒の興味・関心や進路希望が多様化する中で、それに適切に対応したより魅力的な高等学校づくりを進め、一人一人の生徒の力を伸ばす教育を推進することが求められています。

こうした状況において、県教育委員会では、第4期きのくに教育協議会の報告書に盛り込まれた提言等に基づき、高等学校の統合や再編、中高一貫教育校の設置、多部制定時制高校の設置等を内容とする県立高等学校再編整備計画を平成17年5月に策定し、平成18年度から平成20年度までの再編整備を「第1期実施プログラム」として、平成23年度から平成24年度までの再編整備を「第2期（前期）実施プログラム」として進めてきたところです。

今回、策定したプログラムは、これまでの再編整備の実施後の状況及び今後の動向の分析、また、学校関係者等からの意見や県民意見募集等を総合的に検討し、伊都地方における生徒の減少に対応するとともに、当地方の教育の充実と活性化を図るため、第2期（後期）実施プログラムとして示したものです。

# 「和歌山県立高等学校再編整備第2期（後期）実施プログラム」

「県立高等学校再編整備計画」に基づき、第2期（後期）実施プログラムとして、次のとおり高等学校の再編整備を行います。

## 1 伊都地方における県立高等学校の再編整備

伊都地方における生徒の減少に対応するとともに、当地方の教育の充実と活性化を図るため、県立高等学校の再編を行います。

## 2 再編整備の方針と開校する学校の概要

### （1）再編整備の方針

平成27年度に、伊都高等学校と紀の川高等学校の生徒の募集を停止し、生徒一人一人の「夢が実現できる」、従来の全日制・定時制・通信制高校の概念にとらわれない、全く新しいタイプの学校を、伊都高等学校の校地に開校します。

### （2）開校する学校の概要

- 全日制、定時制、通信制のそれぞれのよさを生かし、生徒一人一人にあわせて「学びたい」ことを柔軟に学べるシステムの学校とします。また、定時制と通信制高校の拠点校としての役割も担います。
- 特色ある多彩な講座から、生徒一人一人の進路実現や興味・関心に合わせて、柔軟に選択できるシステムを導入します。
- 勤労体験やボランティア活動、地域活動などをおして、若者の社会的自立をきめ細かく支援します。
- 学校を地域のスポーツ活動や文化活動の場、伝統工芸などを学ぶ場として活用し、地域の活性化を図ります。
- 生徒一人一人の様々な悩みや相談に丁寧に対応するため、カウンセラー等の専門家を配置するなど、体制を整えます。
- 学校を地域の活動・学びの場とすることで、多様な人との出会いを生み、互いに「鍛え合い」、「支え合い」、「学び合う」豊かな教育の場を創り出します。

### 3 新しく開校する学校の構想図

伊都地方に、生徒一人一人の「夢が実現できる」、従来の概念にとらわれない、全く新しいタイプの学校を開校します。

- ★ 生徒一人一人の進路を実現させます。
- ★ 生徒一人一人にあわせて、「学びたい」ことを柔軟に学べます。
- ★ 学び直しのための新たなチャレンジをとことん支援します。
- ★ 生徒一人一人の様々な悩みや相談に丁寧に対応できる体制を整えます。
- ★ 学校が地域の活動や学びの場として活用されるよう、開かれた学校をめざします。

